

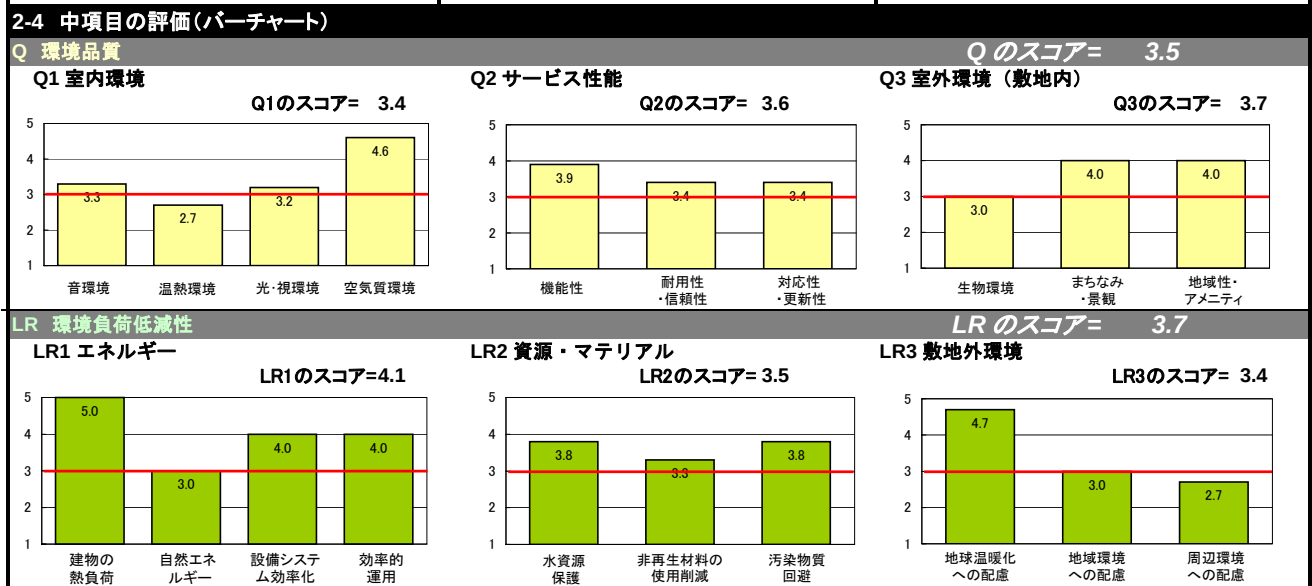
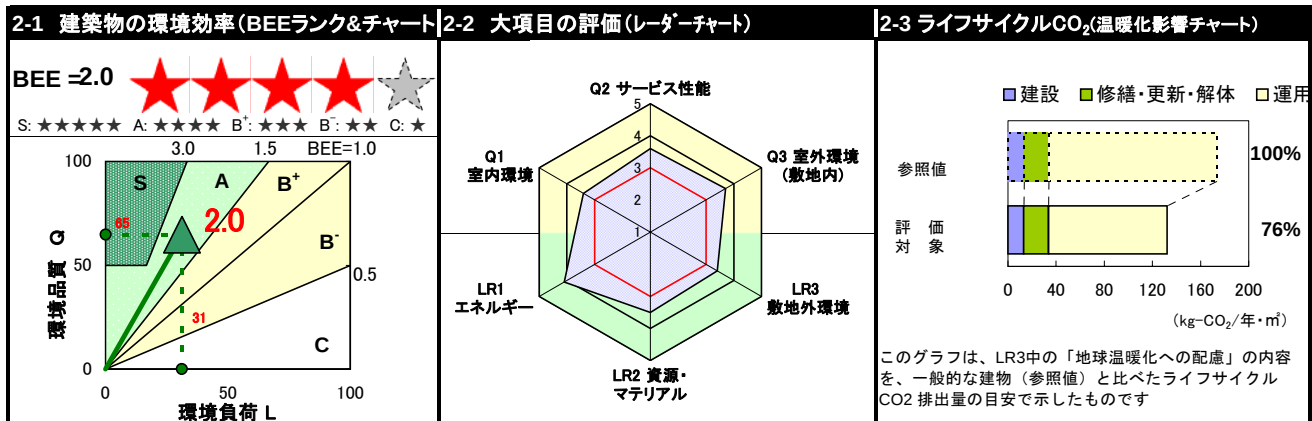
CASBEE™ 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.1.4)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	京都市立病院	階数	地下1階、地上7階	
建設地	京都府京都市中京区	構造	RC造	
用途地域	準工業地域	平均居住人員	288+外来+スタッフ 人	
気候区分	地域区分V	年間使用時間	8,760 時間/年	
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2012年12月 予定	評価の実施日	2011年1月25日	
敷地面積	47,584 m ²	作成者	鹿島建設株式会社	
建築面積	3,269 m ²	確認日		
延床面積	20,825 m ²	確認者		

新館北側外観パース



3 設計上の配慮事項			その他
総合 「市民に親しまれ愛され信頼される病院」実現のため、安全な施設であることを基本とした、安心感を与えることの出来る計画を行ったうえで、癒しの環境が提供できる計画とします。また、機能的な動線計画、機能や施設基準の変化に対応しやすい施設計画、緊急時に対応できる付加的な空間を持つ外構計画を行います。			施設整備期間中は、CO ₂ 等の温室効果ガス排出量低減に配慮し、環境モニタリングによる工事での発生CO ₂ 削減や3R (Reuse Reduce Recycle) 運動による廃棄物量低減を推進し、環境負荷低減、省資源及び省エネルギー
Q1 室内環境 病院施設の特性を考慮し、部屋の用途、患者さんや病院職員の活動内容に応じた室内環境に配慮します。また、内装材料は、揮発性有機化合物 (VOC) の発生に配慮した仕上げとします。	Q2 サービス性能 免震構造を採用することにより、震災に強い建物とします。また、設備の耐久性や更新性に配慮した計画とします。階高は既設本館と合わせ、病院機能の一体化を図ります。	Q3 室外環境 (敷地内) 計画敷地は、景観地区内(市街地型美観形成地区)であるため、景観法等の規定を遵守し、景観に配慮した計画を行います。また、緑化面積を敷地面積の20%以上確保した計画とします。	
LR1 エネルギー 建物の熱負荷抑制に配慮し、PAL値を低く抑えた計画とします。また、病棟の光庭など、自然最高や自然換気を可能とします。BEMSの導入により、設備機器等の最適化運転、監視を行います。	LR2 資源・マテリアル 屋根面降雨水および井水の雑用水としての利用、節水型器具の採用など、水資源保護に配慮した計画とします。また、躯体へのリサイクル材の採用、資源の再利用に配慮します。	LR3 敷地外環境 ヒートアイランド現象の緩和や地球温暖化防止の観点から、既設本館、新館とも屋上緑化を図ります。また、CEC/AC値を抑制した計画とします。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency (建築物総合環境性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい